田村麻子　バイオグラフィー「フルバージョン」

京都府出身。4歳よりピアノを始めピアニストを志すが、17歳より声楽家へ道を転向。 国立音楽大学声楽科卒業、東京藝術大学大学院修士課程オペラコース終了。 1997年、プラシド・ドミンゴ氏主催の国際オペラ・コンクール「オペラリア」に最年少で入選をきっかけに渡米、1998年、ニューヨーク・マネス音楽院に進み、プロフェッショナルコースにて研鑽を積む。同学内公演において、モーツァルト歌劇「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナ役、マスネ歌劇「マノン」のタイトルロール、マノン役に抜擢され、それらの功績により卒業時にベストパフォーマー賞を受賞、また同学院を首席で卒業。

これまで世界各地のコンクールに上位入賞しており、その賞歴は、1999年、カーディフ国際声楽コンクール(英国)日本代表、2000年、メトロポリタン歌劇場全米コンペティション（米）ニューヨーク州代表、ブダペスト国際シンギング・コンペティション(ハンガリー）特別賞受賞、2001年コネチカット・オペラギルドコンペティション優勝、2003年、マルモンド国際コンクール(仏)第３位、および聴衆賞１位、ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクール(伊）優勝など。

国際的なキャリアは2002年より始まる。FIFAワールドカップ決勝戦前夜祭「３大テノール・コンサート」でドミンゴ、故パヴァロッティ、カレラスと共演するほか、ルーマニア国立歌劇場(コンスタンツァ）のドニゼッティ歌劇「ランメルモールのルチア」のタイトルロール（題名主役）にて、ヨーロッパ・デビュー。

その後も、同オペラ同役を、ハンガリー国立歌劇場においてラモン・ヴァルガス氏と共演、センセーショナルな大成功を収め、その模様はハンガリー国内にて放映された。同劇場へは、その後もたびたび出演を重ね、ルチアで3シーズン出演するほか、日本への遠征公演に同劇場メンバーとしても招かれ、日本公演ヴェルディ歌劇「リゴレット」において、ジルダ役を務める。

またイタリアにおいても、ルチア役をトラーパニ音楽祭（シチリア）にて歌うほか、カリアリ歌劇場（サルデーニャ）にて現代最高のルチア歌いと言われる、マリエッラ・デヴィーアと共に、ルチア役でダブルキャストを務め、ジュゼッペ・サバティーニを相手役に大成功をおさめ、絶賛を受けた。

その後、ハンガリー国立歌劇場オーケストラと共に、オペラアリアばかりを集めた初のＣＤ録音を行うほか、アメリカのオペラハウスでも、相次いで主役に選ばれる。中でも、サラソタ・オペラ・カンパニー(フロリダ）にてヴェルディ「群盗」の主役アマーリア役、エルパソ・オペラ(テキサス）ででも、ヴェルディ歌劇「椿姫」のタイトルロール、ヴィオレッタ役は、いずれの公演も熱狂的な大成功を収めた。又2007年には、テアトロ・グラッタチェーロ･オペラカンパニーにて、初の日本人主役に抜擢を受け、レオーニ作曲「ロラーコロ」のアーヨエ役で、リンカーンセンターデビューを果たす。また同プロダクションの、「リンカンテゼィモ」で主役に決まっていたアプリーレ・ミッロの不調のため、急遽代役も務め、ニューヨークタイムズより、好評を得る。

各地でオーケストラとの共演も多く、これまでメトロポリタン歌劇場オーケストラ、ロンドンＢＢＣ交響楽団（ロンドン）、ローマ音楽祭オーケストラ、ロスアンジェルス・シンフォニー、ニューヨーク・コラールオーケストラ、ソルノーク管弦楽団（ハンガリー）、ハンガリー放送交響楽団（ブダペスト）、スーパーワールドオーケストラ、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー、東京フィルハーモニーなどと共演。

イギリスの音楽批評家グレアム・ケイ氏より“Ｂrilliant jewel of the voice”(輝く宝石の声）と評された声と、イタリアの音楽雑誌で評された“目を奪われ、観るものをとらえて離さない”演技力を兼ね備える、国際的若手ソプラノ。今後、世界での活躍がますます期待される歌手の1人である。ＮＹ在住。

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

田村麻子　プロフィール「ショートバージョン」

バージョン１

国立音楽大学声楽科、東京藝術大学大学院修士課程修了後に渡米、マネス音楽院首席卒業。ディ・ステファノ国際コンクール（伊)１位など世界の主要コンクールで上位入賞。日韓ワールドカップ前夜祭３大テナーコンサートにてドミンゴ、故パヴァロッティ、カレーラスらと共演。世界各地の歌劇場にてオペラの主役を射止め、蝶々夫人をロンドン・ロイヤルアルバートホール、ウルグアイ国立ソリス歌劇場、ボルティモア・リリックオペラ等、ランメルモールのルチアをカリアリ歌劇場(伊)シチリアトラーパニ音楽祭、ハンガリー国立歌劇場、ルーマニア国立歌劇場等で、椿姫をテキサスのエルパソオペラ、ミシガンのカラマズーオペラなど。リンカーンセンター(NY)での主役は辛口で有名なニューヨークタイムズにて「輝くソプラノ」と高い評価を受けた。他に世界各地のオーケストラに招かれゲスト出演。メトロポリタン歌劇場管弦団、BBC交響楽団、ローマ祝祭管弦楽団、LAシンフォニー、シカゴフィル、ハンガリーはブダペスト放送交響楽団、ソルノーク管弦楽団、ミシュコルツ音楽祭など。日本では東京フィル、東京交響、東京都響、東京シティフィル、神奈川フィル、大阪フィル、大阪センチュリー、関西フィル、京都交響、札幌交響、仙台フィル、九州交響楽、等と協演。
2015年米国大リーグナショナルズに招聘を受け、対ヤンキースの試合前に外国人歌手として初めてアメリカ国歌斉唱の栄誉を得る。同年リリースのCD「ジュエルズ・オブ・アヴェ・マリア」「ノスタルジア－日本の歌」（ナクソス・ジャパン）の両ディスクはANA国際線オーディオプログラムに搭載された。
現在、母校ニューヨーク・マネス音楽院にて教鞭をとる傍ら、独自の社会貢献活動や、各地でマスタークラスなども精力的に行っている。[www.asakotamura.com](http://www.asakotamura.com/)

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

田村麻子　プロフィール「ショートバージョン」

バージョン２

国立音楽大学、東京藝術大学大学院修了、マネス音楽院(米)首席卒業。ディステファノ国際コンクール（伊)１位など世界の主要コンクールで上位入賞。02年３大テナーコンサートでソリストとして故パヴァロッティらと競演。ロイヤルアルバートホール(英)”蝶々夫人”、マリエッラ・デヴィーアとダブルキャストを務めたカリアリ歌劇場(伊)”ランメルモールのルチア”など、世界各地の歌劇場で様々なオペラの主役を務め、リンカーンセンター(NY)での主役は辛口で有名なニューヨークタイムズにて「輝くソプラノ」と高い評価を受けた。又世界各地のオーケストラに招かれゲスト出演も多数。メトロポリタン歌劇場管弦団、BBC交響楽団、ローマ祝祭管弦楽団、LAシンフォニー、シカゴフィル、ブダペスト放送交響楽団等の他、日本では東京フィル、東京交響、東京都響、東京シティフィル、神奈川フィル、大阪フィル、大阪センチュリー、関西フィル、京都交響、札幌交響、仙台フィル、九州交響楽、等と協演。15年米国大リーグナショナルズに招聘を受け、対ヤンキースの試合前に外国人歌手として初めてアメリカ国歌斉唱の栄誉を得る。同年ナクソスよりリリースした2枚のディスクはANA国際線オーディオプログラムに選ばれ搭載。現在は米日両国を拠点に演奏活動を行う傍ら、独自の社会貢献活動や、各地でのマスタークラスなども精力的に行っている。[www.asakotamura.com](http://www.asakotamura.com/)

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

田村麻子　プロフィール「ショートバージョン」

バージョン３

国立音楽大学声楽科、東京藝術大学大学院、マネス音楽院(米)修了。国内外の様々なコンクールにて上位入賞。日韓共催ワールドカップの前夜祭3大テナーコンサートに、故パヴァロッティ等と共演。リンカーンセンター(NY)でのデビュー公演は、ニューヨークタイムズ紙に「輝くソプラノ」と高い評価を受けた。これ迄メトロポリタン歌劇場管弦楽 、BBC交響楽団、ローマ祝祭管弦楽等、シカゴフィル等多くのオーケストラと共演の他、英国ロイヤ ルアルバートホール(蝶々夫人)、伊国立カリアリ歌劇場(ルチア)、ハンガリー国立歌劇場(椿姫)他など、欧米各地の歌劇場で主役を務める。日本でも主要オーケストラと競演や各種コンサート、全国ツアーなど活躍の場を拡げている。2015年アメリカ大リーグのナショナルズに招聘され、対ヤンキース戦にて外国人歌手として初めてアメリカ国歌斉唱の栄誉を得る。現在、母校ニューヨーク・マネス音楽院にて教鞭をとる傍ら、独自の社会貢献活動や、各地でマスタークラスなども精力的に行っている。[www.asakotamura.com](http://www.asakotamura.com/)